

里地地域の風土イメージの解析について

-岩手県西根町を対象として-

岩手大学正員 安藤 昭
 岩手大学大学院 学生員 佐々木貴弘
 岩手大学大学院 学生員 駒井 拓也

1. はじめに

近年、里地の「ふるさとの風景の原型」に対する期待は高く、土地利用構造や動植物の生態系の面からアプローチした里地に関する研究は数多く見られる。しかし、里地の文化現象の総体、つまり里地地域、特に風土イメージについて論じた研究は少ない。

本研究は、このような背景のもとに、岩手県西根町を対象とした里地に関する風土イメージの分析をすることを目的とした。

なお、評価主体には、より開かれた里地景観の在り方を指針する視点の必要性から、現在里地を暮らしの場とする住民と、里地景観を原風景として抱く転出者、里地景観を第三者として評価できる来訪者を選定した。

2. 調査概要及び分析方法

(1) 調査対象地の概要

本研究の対象地である岩手県西根町は、人口19,448人（平成10年9月1日現在）、総面積167.16km²、盛岡市の北方27kmの岩手県北部に位置し、南西端に標高2,038mの秀峰岩手山を抱く緑豊かな町である。第一次就業人口率は33.5%と農林業が盛んであり、主要幹線である国道282号沿いに形成される市街地の周辺には、水田や七時雨山などの豊かな山々が周囲に広がり、のどかで牧歌的な風景は里地のイメージを湧き起こす。人口密度113.4人/km²、森林率49.9%は里地自然地域の定量的指標³⁾とも合致し、「里地の性格を多く含む町」といえる。

(2) 調査方法

はじめにイメージ再生法（言語記述法）を用いたDelphi法により対象地域の記憶素材の採取を行った。次に、西根町の特徴を表す刺激語の用語群から被験者に連想チェーンをつくってもらい制限イメージ連想法を行った。なお調査に用いた刺激語（32語）は、教官2人を含む研究室員4人と西根町役場職員3人によるブレインストーミングにより選定した。

調査手法は、住民、転出者、来訪者ともに郵便調査法である。被験者の属性等を表-1に示す。

表-1 被験者属性

	評価主体	性別			総計 (人)
		住 民	男 性	女 性	
言語記述法による調査	1回目	住民	96	117	213
	2回目	転出者	54	51	105
		来訪者	50	32	82
言語記述法による調査	1回目	住民	73	63	136
	2回目	転出者	40	38	78
		来訪者	42	21	63
制限イメージ連想法	1回目	住民	86	80	176
	2回目	転出者	47	45	92
		来訪者	108	29	137

(3) 分析方法

(i) 言語記述法による調査結果の分析

第1段階として再生された要素のイメージ再生百分率（以下、再生率）を表し、再生率を縦軸に、再生順位を横軸にとって大きさの順に示し、想起順位図で表し、この結果を同一被験者に前回の回答とともに提示し、再度同調査を行うことにより、被験者集団の意見の収斂を図った。

(ii) 制限イメージ連想法による調査結果の分析

得られた連想チェーンから、各刺激語の「思いつき易さ」の程度を示す値であるイメージウエイトを求め、刺激語の序列化を図り、イメージウエイトと想起関係を示す連想パターンを基に、連想階層図を描き出し、各刺激語の相互依存関係を定量的に把握する。また、刺激語同士の群を把握するため類似度マトリクスを利用したクラスタリングを行った。

(iii) ローカルイメージの立体モデルによる分析

風土イメージの解析モデルとして、立体モデル（cubic model）¹⁾を用いた。これは、里地地域の景観は、開かれた美しく個性豊かな景観として育成していく必要があるとの考えに基づき、既述の住民・転出者・来訪者を評価主体として選定することを考慮したものである。3次元各方向に評価主体のイメージ強度をとり、3主体の地域に対するイメージの度合いを検証するものである。

3. 分析結果及び考察

(i) Delphi法を用いた言語記述法による2回目の調査結果（順位20位以上）を表-2に示す。主体ごとに順位、再生要素、再生率をみると、住民、転出者、来訪者の3者で再生率が高いものは、岩手山、焼走り熔岩流など西根町だけでなく、広く内外に知られているものが挙げられた。住民、転出者で共通して高いものは、松川など一般に広く知られていないもので、住民と来訪者では、道の駅「にしね」や西根温泉ゲンドルラ

表-2 言語記述法による調査結果（単位：%）

順位	再生要素	再生率	順位	再生要素	再生率	順位	再生要素	再生率
1	岩手山	94.12	1	岩手山	89.74	1	焼走り熔岩流	88.69
2	焼走り熔岩流	88.97	2	道の駅「にしね」	83.65	2	道の駅「にしね」	77.73
3	西根温泉ゲンドルランド	76.47	3	岩手山	83.43	3	岩手山	71.43
4	道の駅「にしね」	69.12	4	岩手山	81.26	4	西根温泉ゲンドルランド	57.14
5	いこいの村岩手	67.83	5	岩手山	80.50	5	岩手山	47.62
6	七時雨山	66.91	6	岩手山	80.00	6	国道282号	44.44
7	岩手山登山マラソン大会	63.24	7	岩手山	79.47	7	いこいの村岩手	42.86
8	松川	58.82	8	岩手山	78.88	8	八幡平への湯り道	38.10
9	西根温泉ゲンドルランド	54.41	9	岩手山	78.74	9	マックスバリュ	38.10
10	松川	48.53	10	岩手山	78.49	10	サンクス	38.51
11	ふるさと夏祭り	47.79	11	大栗駅	38.40	11	西根インターチェンジ	34.92
12	岩手山	47.66	12	岩手山	37.18	12	岩手山	34.92
13	大栗駅	46.32	13	岩手山	37.18	13	焼走り熔岩流	30.16
14	三ツ湯スキー場	44.85	14	岩手山	35.90	14	東北自動車道	23.81
15	岩手山	44.65	15	岩手山	34.62	15	岩手山	23.81
16	岩手山	44.12	16	岩手山	33.33	16	岩手山	23.81
17	岩手山	44.12	17	岩手山	33.33	17	岩手山	19.05
18	岩手山	41.18	18	岩手山	32.05	18	岩手山	19.05
19	岩手山	41.18	19	岩手山	32.05	19	岩手山	19.05
20	岩手山	41.18	20	岩手山	32.05	20	岩手山	19.05

ンド、国際交流村など観光、レジャー施設が高かった。転出者と来訪者では、田園などの田園風景の順位が高く、その地域から離れてよくわかるものと考えられる。それぞれの主体ごとでは、住民は雨除けほうれん草、ふるさと夏祭り、平笠裸参りなどその地域固有のものが、転出者では、田植え、ホタル、稲刈り、栗拾いなど懐かしまれる原風景的な要素が挙げられ、来訪者では、大型ショッピングセンターやコンビニエンスストアなど世間一般に知られているものが挙げられた。

(ii) 制限イメージ連想法による調査結果の分析

「岩手山」を含むクラスタリングを比較すると、住民では『岩手山-焼走り熔岩流-国際交流村』と狭義での岩手山麓の対象物として捉えているが、転出者、来訪者ではイメージする領域が広く、「岩手山」を含む個々の施設がまとり、空間的認識がなされている。また、「国道282号」を含むクラスタリングでは、住民、転出者が『国道282号-道の駅「にしね」-盛岡北部工業団地』という、場所的なまとまりを示しているのに対し、来訪者では、観光・レジャー施設への連絡路、または通過道として捉えられているといえよう。

(iii) ローカルイメージの立体モデルに対する検証

- 1) 住民・転出者・来訪者に強くイメージされる領域は、「岩手山」がぬきんでて高く、「焼走り熔岩流」「雪景色」などランドマーク的な要素やそれに付随する季節のイメージ挙げられた。
- 2) 住民・来訪者に強くイメージされる領域には、「道の駅「にしね」」「国道282号」など幹線道路やその沿線にある交流施設、特に近年設置されたものに関する語が挙げられた。
- 3) 転出者・来訪者に強くイメージされる領域には、「山菜採り」「西根温泉グェンデルランド」など懐かしまれる風景に関する語が挙げられた。
- 4) 住民に強くイメージされる領域には、「国際交流村」「三ツ森スキー場」などローカルなイメージの交流施設が挙げられた。
- 5) 転出者に強くイメージされる領域には、「田植え」「稲刈り」「松川」「七時雨山」「ふるさと夏祭り」など叙情的なイメージで、里地の典型的な風景の要素が挙げられた。
- 6) 来訪者に強くイメージされる領域には、「いこいの村岩手」などレジャー施設が挙げられた。
- 7) その他の領域、つまり3主体ともにイメージの弱い領域には、「白坂観音」「暮坪遺跡」など歴史・文化性を備え、また観光的にも価値があるものと思われるが、現在はあまり広く知られていない存在のものが挙げられた。
- 8) 住民・転出者の2主体共通に強くイメージされる領域に含まれる要素は、今回の分析では明らかにすることができなかった。

【参考文献】

- 1) 安藤昭, 佐々木貴弘, 赤谷隆一, 佐々木栄洋 (1997), 「住民・転出者・来訪者からみた岩手県中山間地域における町のイメージ構造-岩手県軽米町を対象として-」, 第32回日本都市計画学会学術研究論文集, pp475-480
- 2) 環境庁 (1994), 「環境基本計画」
- 3) 環境庁 (1996), 「里地自然地域等自然環境保全調査」
- 4) 自治省 (1996), 平成8年版全国市町村要覧, 第一法規出版
- 5) 岩手県 (1996), 平成8年度岩手県統計年間

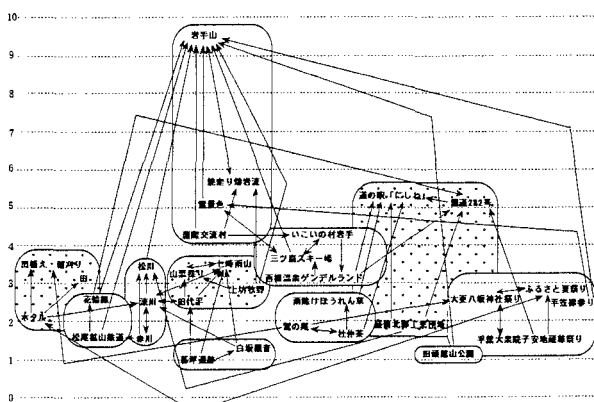


図-1 連想階層図・住民

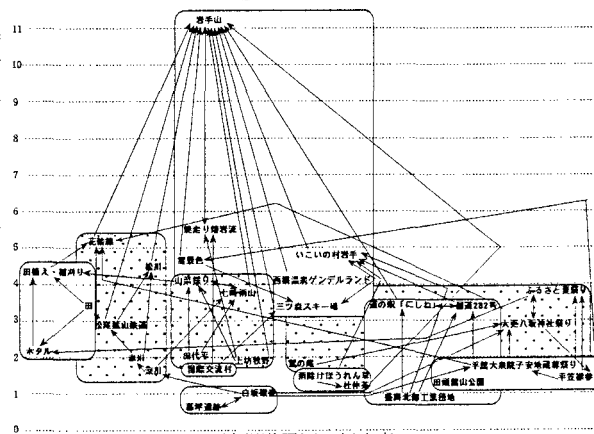


図-2 連想階層図・転出者

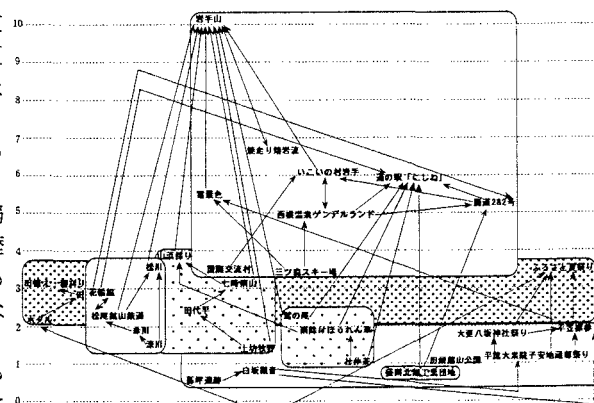


図-3 連想階層図・来訪者